



いっちょかみ
“一丁啮” が行く!

第50回：行列のできる店

ご自分のお気に入りのお店ってお有りですか？

飲食店にしろ、洋品店にしろ、人にお勧めできるお気に入りのお店の一軒や二軒はお有りだと思います。

そしてそのお気に入りのお店は自分なりのこだわりがあったりして、その店に行くのが楽しいものです。

しかしどうも最近はそのいったこだわりのお店ではなく、評判のいい店に行く傾向が強まってきているような気がします。過日問題になった「食べログ」のやらせ投稿（口コミ）の時に改めてそう思ったのですが、なぜ口コミだけで人が殺到してしまうのでしょうか。

私の自宅の近くに土日になると人が並ぶうどん屋さんがあります。何かの雑誌かネットで紹介され、食べログなどで口コミで“行列ができるうどん屋”になったのでは？と思うのですが、つい数年前まではまったく閑散としていてお客が入っている気配もあまり感じられないお店でした。

私は入ったことがないので、果たしておいしいうどんが出て来るのかどうか知りませんが、それにしても急激な人気の秘密はどこにあるのでしょうか。

シスポート東京営業所があった頃よく東京に行きましたが、東京では昼ごはん時に人が並んでいる店をよく見かけました。関西人の私は「昼ご飯に並んでまで食べとやない」と人が並んでない隣の店に入ってあまりのまずさに、人が並ぶことに変に納得したものでしたが、そんな並ぶことに慣れていない東京の人達が京都のあちこちで並んでいるのでしょうか。

並ぶことの是非はともかくとして、そういった口コミやネット情報などに踊らされることに何かしら不安を感じてしまいます。

風評被害というのもそういった傾向が顕著に表れた結果ではないかと思えます。

人の意見や世間の人気などに左右される風潮が高じてくると、ものの価値を見定める力が低下して本当にいいものが失われていくような気がします。もっと自分の舌や目、五感をフルに使って自分にとっての“ホンモノ”を見つける努力をしていきたいと思えます。そうすることによってなにか大切なものが失われずに済むような気がするのですが、いかがでしょうか。

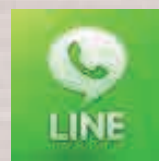
ごぞんじでしたか？

スマホ同士で無料通話ができる LINE

スマートフォン同士で無料通話ができる LINE というアプリケーションをご存じですか？

タレントのベッキーを使ったテレビCMの効果もあってか、現在、利用者が急増中です。

似たようなサービスでは「Skype」がありますが、「LINE」の場合はスマートフォンのアドレス帳に登録されている人の中から LINE の登録者（利用者）を自動的に検索し、「友だち」としてに登録されますので、すぐに



メッセージ（メール）のやりとりや音声通話をワンタッチで行うことができます。（アドレス帳に登録されている利用者を自動登録することが問題になっていますが、プライバシー管理機能も追加され自動登録を解除することもできるようになりました。また、Skype ならできる複数の人達でのグループ音声通話やテレビ電話機能はありません）

無料音声通話はスマートフォン同士であれば 24 時間できます。対応しているスマートフォンは、iPhone と Android ですが、メッセージ（メール）のやりとりだけなら普通の携帯電話とでもできます。

また、LINE は最初に自分のスマホのアドレス帳に登録してる人の中から LINE を使っている人を自動的に検索して「友だち」として登録するという機能があります。筆者も最近使い出したんですが、自動登録される人数の多さにビックリしました。

あの人も！？この人も！？と意外な人も結構あって驚きました。タイに赴任している友人が自動登録されたのでさっそく電話やメールのやりとりをしてみました。通話品質もそんなに悪くなく、これなら使い物になるという感じがしました。

スマホをお使いの方は是非お試し下さい。

無料音声通話ができる理由は、インターネットでのデータ通信を使った音声通話（VoIP）を利用するためで、携帯電話のような通話料はかかりません。但し、パケット通信料がかかります。しかし、スマートフォン利用者ならパケット料金定額制に入っているのが普通ですから実質的に追加の料金は発生しないということになります。

読者 訪問



第26回

お伺いした会社	京洛会計	http://www.kyoraku-kaikei.jp/
お目に掛かった方	税理士 大塚 俊宏 さん	t-otsuka@kyoraku-kaikei.jp
会社の所在地	〒604-8106 京都市中京区堺町御池下ル 丸木材木町 670-1 吉岡御池ビル 902 号	
主な業務内容	税務相談・税務代理・税務申告, 会計業務	
連絡先など	TEL:075-213-1944 FAX:075-213-1946	

今回は京洛会計様にお伺いして、当社の顧問税理士である大塚先生にお話を伺いました。大塚先生はもともと当社の創業時（1981年）にお世話になった会計事務所にお勤めになっておられました。創業後2年ほど経過した1983年頃から当社の担当を下さることになり、1993年に独立されてからも現在に至るまで、サポートの税務面はもとより経営面でも良きアドバイザーとしてお力添えをいただいております。



大塚先生

“大塚先生とパソコン”という話をし出すと、いろいろなエピソードも含めて誌面がまったく足りなくなるのですが、先生ご自身は1986年頃からパソコンと格闘されておられます。100万円も掛けて当時ではまだ珍しかったフロッピーディスク付きのパソコンを導入されるなど、早くからコンピュータを活用していこうという積極的なスタンスで臨んでおられます。

会計事務所用のシステムとしてはMJS（ミロク情報システム）さんのシステムを導入されており、現在では社内に6台のパソコンと1台のサーバー、そして3台のレーザープリンターを設置し、他の2名の税理士さんと共に会計事務所を運営なさっております。

パソコンを使い始められた頃からいろいろなサポートをさせていただいてまいりましたが、現在地に移られた1995年頃からサポートとITサポート契約（現在のPCエスコートサービスに相当）を締結していただき、事務所内のシステムのサポートや運用スキルアップのお手伝いなどをさせていただいております。事務所内のシステムのサポートといっても、MJSさんのシステムは専用システムですので私共では手出しはできないのですが、社内LANやインターネット接続、共有フォルダーの運用など、業務効率アップのための活用支援をさせていただいております。また、先生をはじめ職員さんのITスキルアップのための勉強会なども、弊社の米田が専門家として登録している公的支援制度（*1）も活用するなどして積極的に取り組んできておられます。

京洛会計さんは、関与先企業の経営の伴走者を担うことを目指して、大塚先生以下、杉本先生、林先生の3名の税理士さんで活動されておられます。

私どももまさにIT活用を目指す企業の伴走者として、お互いに足りないところを補完し合いながら、共に頑張りたいと思っております。

(*1) 京都産業21が行っている中小企業支援施策で、1回2時間程度の専門家派遣を企業負担8,000円程度で受けられる制度。
<http://www.ki21.jp/information/specialist/dispatch/index.html>



事務所の様子

犬も歩けばサポート日記



事例をご紹介しているコーナーです。サポートのサポート担当者の奮戦記からなにかヒントを得ていただければ幸いです。



今日のご相談

少量多品種の機械を製造されている製造業の会社様からご相談いただきました。いくつかの外注加工先での加工工程を経て製品を完成させているが、今どこになにをどれだけ出しているか、それぞれの納期はいつかなどを簡単に把握したいと... 生産管理、工程管理とくれば、弊社でも積極的に取り組んでいる大阪八尾の製造業であるデジックさんが開発された『アシスト』という生産管理ソフトをご提案したいところですが、本格的な進捗管理は要らない、仕掛品の外注先への入出庫が簡単に把握できればいいと...



今日のご提案

外注加工先への仕掛品の出入り管理ということを抑えれば、反物などの加工先への入出庫や展示会への持ち出しなどの単品管理を、一品ごとにバーコードラベルを付して入出庫の都度、タッチスキャナーで読み取って管理できるようにしている『ごふくQ』という『はんばいQ』の業種別バージョンがありますので、その一部機能を使えば比較的リーズナブルにできるのではないかとご提案してみました。

ほほう、製造業に『ごふくQ』ですか。バーコードとタッチスキャナーという組合せで入出庫管理を簡単に行うというのはいいですね。倉庫が事務所から離れているならばタッチスキャナーの代わりにハンディターミナルを使うということもできますしね。『ごふくQ』でのノウハウをうまく活用して簡単にリーズナブルな提案をしてあげて下さい。

今日の所感



※後日談

『ごふくQ』の一部機能を盛り込んだ『はんばいQ』をお使いいただくことになりましたが、外注管理だけではなく社内での工程管理も生産指図書にバーコードを付しておくことでできますので、将来的に本格的な工程管理、進捗管理を『アシスト』を使ってやっていただけるようにサポートしていきたい思います。

